

道徳科学習指導案

令和6年1月13日(土)

昭島市立多摩辺中学校

1年1・2・3組

1 主題名 思いやりとはなにか【内容項目 B(6) 思いやり・感謝】

2 教材 「不自然な独り言」(出典「中学道徳2 とびだそう未来へ」 教育出版)

3 本時のねらい

「思いやり」とは、相手の立場や気持ちに対する配慮であることに気づき、自分が他者に対して能動的に接しようとする意欲を養う。

4 指導上の工夫

生徒は以前、教材「思いやりとは…」(東京都道徳教育教材集「心みつめて」より)を学んだ際に、電車内で足の不自由なおじいさんに席を譲る話を扱った。そのとき、「心の中で思いやりの気持ちをもったとしても、それを行動に移せなかったら“思いやりがある”といえるのか?」という問題について議論をしている。授業内で答えは出なかったが、思いやりの心と行動との関わりについて、生徒からさまざまな感想が出された。(以下例)

- ・考えてても行動しないと意味がないと思った
- ・行動に移すことができたならもちろん良いと思うけど、まずは人を大切にする気持ちがあればそれが思いやりになると私は思う
- ・相手に気持ちが伝わってなくても、相手に優しさや力になることをするのが思いやり
- ・やらない善よりやる偽善というように、思っても行動しなければ意味がないし、思っていないでも行動すれば意味がある

今回はこの学びを既習事項とし、教材の「僕」には思いやりがあるといえるかどうか、再度議論をする。同じ内容項目を異なる教材で考えることで、自己の考えをさらに深めさせたい。

(参考) 学習指導要領の記述

「思いやりの心」とは、自分が他者に能動的に接するときに必要な心の在り方である。他者の立場を尊重しながら、親切にし、いたわり、励ます生き方として現れる。それはまた、黙って温かく見守るといった表に表れない場合もある。

思いやりや感謝の気持ちを言葉にして素直に伝えようとする心が、今自分が相手に対して何をもって応答することができるかを考えさせ、結果として自己と他者との心の絆をより強くするのだということに気付かせたい。

5 本時の展開

	・学習活動 ○発問 ◎中心発問 *予想される生徒の反応	・指導上の留意点
導入 5分	・過去の道徳「思いやりとは…」の復習をする 教材でどのようなことを考えたか、生徒からの感想でどんな意見が出たかをモニターで共有する。	・今日の授業は、思いやりについてさらに深める道徳であることを確認する。

<p>展開 35分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教材を読む（5分） <p>OP27「でも、頭に浮かんだ…どうしても出てこないのはなぜだろう？」（4分）</p> <ul style="list-style-type: none"> *勇気が出なかったから *恥ずかしかったから *遠慮したから <p>◎「僕」には思いやりがあるといえるだろうか？自分なりに考え、班で議論してみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに自分の考えを書く（3分） ・班で意見を出し合い、議論する（8分） ・各班から意見を出し、全体で議論する（10分） <ul style="list-style-type: none"> *勇気を出して声をかけようとしているから、思いやりがあるといえる *「僕」の行動の意味が「男の人」にちゃんと伝わったかどうかはわからない *目の不自由な人に対して、ちゃんと相手の立場を考えようとしているから、思いやりがある *心の中では色々考えているが、結局行動に移せていないので何とも言えない *悩んだ結果、はっきり伝わったかはわからないが行動しようとしたことに意味がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・途中で止めずに、淡々と読む。 <ul style="list-style-type: none"> ・発問して数人に挙手させて聞き、全体で確認する。あまり時間を取らない。 ・「僕」は「男の人」の目が不自由なことに気づき、声をかけようとした → 思った通りの行動に移せなかった、ということ全体を確認し、次の主発問につなげる。 <ul style="list-style-type: none"> ・各班での話し合いに積極的にかかわり、アドバイスや揺さぶりをかけ、議論を生み出すよう工夫する。 <p>例1：少しでも行動したことに意味があるんじゃないかな？</p> <p>例2：でも、結局「僕」の行動が相手に伝わったかどうかはわからないよね。</p> <p>例3：前回の授業の電車で席を譲らなかった中学生とは何か違うかな？</p> <p>例4：「男の人」が望んでいたことは？</p> <p>例5：結局、行動しなければダメなのかな？勇気が出なくても、相手のことを考えるだけでも大事なのかな？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結論を一つに決めず、「思いやり」について様々な考え方を集めるようにする。 ・「相手の立場」「配慮」「気持ち」「親切」といったキーワードが出てきたら取り上げ、全体で共有する。
<p>終末 10分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の授業の感想を書く（7分） <ul style="list-style-type: none"> *教材の「僕」は少しでも勇気をだして行動したことに意味があるし、そういう気持ちをもつことが思いやりなのかな、と思った。 *前回の授業の例よりは、「僕」の行動があったので思いやりがあると思った。でも、実際に声をかけるのは難しい。 *相手の男の人が何を望んでいるのかは聞いてみなければわからない。聞ければ一番いいけど、そうじゃなくても一生懸命考えることが大事だと思った。 <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを回収し、何人かの感想を紹介する（3分） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートには、教材の感想／議論をした感想／「思いやり」について考えたこと／など、自由に書いて良いことを説明する。 <ul style="list-style-type: none"> ・感想を紹介するときは、ワークシートにあらかじめ用意した「紹介しても良い」のチェックを入れている生徒を取り上げる。

不自然な独り言

目標 思いやりとは何か、自分なりに考えよう

ピクチャー

カード「僕」

ピクチャー

カード「男の人」

質問1 「でも、頭に浮かんだ…どうしても出てこない」のはなぜだろう？

- ・ 勇気が出なかったから
- ・ 恥ずかしかったから
- ・ 遠慮したから

質問2 「僕」には思いやりがあるといえるだろうか？

・ ~~~~~
・ ~~~~~
・ ~~~~~
・ ~~~~~
・ ~~~~~